

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-131	16-080	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Smoking, alcohol and caffeine in relation to two hormonal indicators of ovarian age during the reproductive years. 出産可能年齢における 2 つの卵巢年齢指標ホルモンと喫煙、飲酒、およびカフェインとの関連		
執筆者		
Kline J, Tang A, Levin B.		
掲載誌		
Maturitas. 2016 Oct;92:115-22. doi: 10.1016/j.maturitas.2016.07.010. Epub 2016 Jul 21.		
キーワード		PMID
抗ミュラー管ホルモン、卵胞刺激ホルモン、喫煙、飲酒、カフェイン		27621248
要 旨		
目的： 喫煙、飲酒およびカフェインと卵巢年齢指標ホルモン（抗ミュラー管ホルモン [AMH]、卵胞刺激ホルモン [FSH]）との関連性を検討した。		
方法： 米国ニュージャージー州の病院で自然流産または出産を経験した 477 名の女性を対象に、電話による聞き取り調査および約 1 か月後に血液検査を行った。過去 1 か月間の喫煙、飲酒、およびカフェインの摂取状況を調査し、血中 AMH 濃度および FSH 濃度を月経 2-4 日目に計測した。喫煙状況（非喫煙、過去喫煙、現在喫煙）、飲酒頻度（週 1 日未満、1 日、2-7 日）、カフェイン摂取量（37mg/日未満、37-122mg/日、122-553mg/日）による AMH および FSH の平均値 (ln: 自然対数) と標準偏差 (SD) を求め、各因子の低暴露群に対する回帰係数 (β) と 95% 信頼区間 (95% CI) を算出した。		
結果： AMH (ng/ml) および FSH (mIU/ml) 濃度の平均値 (ln, [SD]) は、非喫煙: -0.05 (1.16), 過去喫煙: 0.05 (1.04), 1.72 (0.33), 現在喫煙: 0.02 (1.17), 1.75 (0.32)、飲酒頻度が週に 1 日未満: 0.09 (1.15), 1.67 (0.40), 1 日: -0.07 (1.10), 1.74 (0.42), 2-7 日: -0.12 (1.07), 1.74 (0.38)、カフェイン摂取量が 37mg/日未満: 0.14 (1.12), 1.64 (0.43), 37-122mg/日: -0.09 (1.16), 1.71 (0.42), 122-553mg/日: -0.09 (1.09), 1.76 (0.36) であった。現在喫煙者は非喫煙者に比し FSH 濃度が約 15% 高値であった (β: 0.14, 95% CI: 0.03, 0.25) が、AMH 濃度は喫煙状況との有意な関連を示さなかった。また、飲酒頻度およびカフェイン摂取量は FSH および AMH ともに関連がみられなかった。		
結論： 現在喫煙と FSH が正の関連を示したことから、喫煙が卵胞発達を阻害し、視床下部-下垂体-卵巢系ホルモン系を乱す可能性が考えられる。しかし、喫煙と AMH との関連を認めず、さらなるメカニズムの検討が必要である。		